

広報広聴特別委員会 会議録

開催年月日	平成29年7月 6日（第17回）			
開催の場所	湖西市役所 委員会室			
開閉会時刻 並びに宣告	開会	午後 1時00分	委員長	神谷 里枝
	閉会	午後 1時56分	委員長	神谷 里枝
出席並びに 欠席議員 出席 9名 欠席 0名 〔凡例〕 ○は出席を示す ▲は欠席を示す	氏 名	出欠	氏 名	出欠
	楠 浩幸	○	馬場 衛	○
	渡辺 貢	○	中村 博行	○
	吉田 建二	○	神谷 里枝	○
	加藤 弘己	○		
	荻野 利明	○		
	豊田 一仁	▲		
説明のため 出席した者の 職・氏名				
職務のため 出席した者の 職・氏名	次 長	尾崎 修	書 記	熊谷 浩行
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

広報広聴特別委員会会議録

平成 2 9 年 7 月 6 日（木）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会

〔午後1時00分 開会〕

○馬場副委員長 きょうは特別委員会ということでございますので、よろしくお願いいたします。

では委員長、開会をお願いいたします。

○神谷委員長 改めまして、皆さんこんにちは。きょうは福祉教育委員会が勉強会ですか、もう日程がとれなくて、事務局で調整していただきまして、とりあえずただいまから2時半まではちょっと無理ですので、約1時間をめどに特別委員会を開会したいと思いますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

豊田委員のほうは監査の仕事がありまして欠席となっております。

ではただいまから第17回広報広聴特別委員会を開会させていただきます。

早速議事に入らせていただきます。発言は必ず挙手の上、指名に基づきマイクのスイッチを入れて御発言ください。

本日の予定は次第のとおりでございます。

それでは議事に入らせていただきます。

最初に、新居高校生との意見交換会についてを議題といたします。1枚とっていただきますと、交換会の日程の資料がございます。まず、もう来週ですので再確認をしたいと思います。

では事務局のほうで説明をお願いいたします。

○事務局 7月13日木曜日、13時から15時15分まで予定しています新居高校生と湖西市議会広報広聴特別委員会の意見交換会についてです。

日程のほうがお配りしている資料のとおりですけれども、12時40分に新居高生を迎えに行きます。対象が3年生19名となっております。

こちらの会場に着いて、13時から全体会として始めさせていただいて、パワーポイントを使って市議会の概要の説明、質疑応答、そのまま議場の見学と庁舎内見学ということで、市長室のほうに見学に行っていたかどうかという予定となっております。対応されるのは市長がいないものですから副市長となっております。

その後14時半から45分間、15時15分まで意見交換会。内容としましては「将来、自分が住みたいまちにはこれが必要」、①生まれ育ったまちの自慢できる点、残念な点、②期待するまちの将来像、③18歳選挙権について思うこと、④議員に聞きたいことという意見交換会を行いまして、3グループに分かれてAが委員会室、Bが第1議員会議室、Cが第2議員会議室で予定となっております。15時20分にはこちらのほうをバスでまた出たいただいて新居高校のほうに帰っていただくというような日程となっております。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。ただいま事務局のほうで説明していただきました。

その中で一点確認させていただきたいんですけども、全体会の中の議員紹介があるわけですが、これはどういった形で。皆さんそれぞれ自己紹介をしていただきますか。どういった方法がいいでしょうか。ここが少し、ちょっと確認がうまくとれてなかったものですからお諮りします。どうぞ。

○馬場副委員長 それぞれ特別委員会のメンバーについては、各分かれたところで改めてのまた紹介という形もできると思いますので、この場では委員長のほうからさらっと紹介だけしていただければいいかなと考えておりますが、いかがでしょうか。

○神谷委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

では、私のほうで名前だけを読み上げさせていただきますので、その場で一礼していただくぐらいの程度でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。ではそういった紹介の仕方をさせていただきます。

ほかに何かございますか、皆さんのほうから。中村委員、どうぞ。

○中村委員 会場の下のほうの欄の二重丸と一重丸はどういう内容ですかね。

○神谷委員長 事務局お願いします。

○事務局 二重丸が司会とコーディネートをされる方、丸の方が書記、記録をとっていただく方という予定となっています。以上です。

○中村委員 了解です。

○神谷委員長 よろしいでしょうか。

では、ただいま質問がございました書記の方にとっていただき、その後の段取りについて、事務局、説明をお願いします。

○事務局 その後ですね、書記の方なのですが、前回にもスケジュール表の中に記載させていただいておりますが、7月24日月曜日までに、データで事務局まで記録を送っていただきまして、そして25日に、予定なのですが、議員の研修会がここがございますが、その終わった後に広報広聴特別委員会を開催いたしまして、各そこから出していた記録をまとめたものを皆さんに見ていただくという形になります。そして8月7日に田原市議会への視察がありますので、そこで高校生との意見交換会の報告書の素案をお配りして、そこでまた内容を確認していただく。そして8月28日月曜日に議員全員協議会がございますので、そこで正式に新居高校生との意見交換会の報告書を提出し、委員長から皆さんに説明をしていただくというそんな予定となっております。以上でございます。

○神谷委員長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

〔「結構です」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。書記の方につくっていただくのは、そのままワードでベタ打ちで打っていただければいいそうですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。録音のほうはどうですか。

○事務局 事務局です。録音につきましては、各3会場それぞれICレコーダーを置いて録音いたしますので、それをもとに参考に記録をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○神谷委員長 ありがとうございます。

新居高校生との意見交換会全体を通して、何か御質問ございますか。馬場委員。

○馬場副委員長 高校のほうへ、昨年はお迎えに出る、渡辺委員が学校のほうまでお迎えに行っていたんですが、今回はどうしましょう。もしあれでしたら私行ってもよろしいですけど。事務局だけにお任せというのと、その辺についていかがですか。

○神谷委員長 どういたしましょうかね。お迎えのほうは。初めてですが。事務局だけでもいいかなとも思ひますし、副委員長のほうにはパワーポイントで説明もやってもらうとかという、こちらのほうの準備もあつたりするのかなと思ひますけども。いかがなものでしょうか。荻野委員。

○荻野委員 やはり委員長か副委員長かは行ったほうが、一人ね、一人でいいので、と思ひます。

○神谷委員長 ほかにいかがでしょうか。

では御意見がなければ、済みません、挙手お願いします。

まずとりあえず、正副委員長のどちらかが同行するというほうがいいと思われる方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○神谷委員長 ありがとうございます。では、同行するというこゝで。どちらが行くかというのは、どうしましょうか。まあ、相談しますんで。

ほかにはいかがでしょう。もしよければ、高校生との意見交換会はこれで本番に臨むということになりますので、皆様の御協力をよろしくお願ひします。よろしいでしょう。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。では、次の議事に移ります。

市民からの声・投書に対する取り扱いについて。これはもう何回か委員会を開かせていただいております、とりあえずたたき台をつくりましょうということで、いろいろ皆さんの御意見を伺って、こういったたたき台をつくらせていただきました。

まず、前はやはり回答する部分とこの特別委員会で検討する部分ということにおいて、出てきた文書の上段の部分については議長のほうへお返しをしました。下の部分は今お手元にご置きます資料のようなたたき台をつくらせていただきましたので、皆さん目を通していただいて御意見を賜りたいと存じます。

右端ですね、以下は回答しないという四角で囲んだ部分があるんですが、これは市が市民からの意見に対応するときの基準になっている文章をここへ掲載していただいているということでもあります。

その次の資料ですけども、これはたまたまインターネット見てましたら大分市議会が市民に対する意見・質問への対応の仕方が載ってましたので、これはあくまでも参考資料として目を通していただければと思います。

楠委員。

○楠委員 2点ほどちょっと確認したいんですけども、上段のほうから、市民からの声・投書をいただいて、正副議長のほうで議会運営委員会で協議すべき内容というのは、これ、具体的にはどんな、議会全体に対するとか、どういうふうなことをイメージすればいいんですかね。

○神谷委員長 お願いします。

○事務局 事務局です。正副議長宛てに届いた意見につきまして、通常でしたらそれぞれ福祉教育委員会や総務経済委員会と分かれているものでしたら、その場で議長のほうから、この流れで行くと回答の検討をという流れになりますけど、福祉と教育にまたがっているものとか、あるいはそれ以外の3つの委員会からかなりちょっと離れてるような内容のものについて、そのまま委員会にお渡しするよりも議会運営委員会で一度諮ったほうがいいという判断があったときに、議会運営委員会でそれぞれ3常任委員長がメンバーとなっておりますので、一応そこで一度市民から来た投書を見ていただいて、そこで最終的に、そこで振り分けるのか、まとめるのかというのを、議運のまた委員長の判断で決めていただくと。そういう流れになっております。以上です。

○神谷委員長 楠委員。

○楠委員 そういった意味では、このフローの中に正副議長から議運を介さなくていいのかなというふうには実はちょっと思ったんです。議運を介して各常任委員会で振り分けるというふうにしたほうがいいのじゃないのかなというふうには思ったんですけどね。これは個人的な感想ですので、各常任委員会さんが自分のところの所管じゃないよということについても、シェアしておいたほうが、ほかの議員さんにもこういうふうな質問があったんだよというようなことが展開が可能なんではないかなというふうには思ったんですけどね。ほかの皆さんがどのようにお考えなのか、一度ちょっと御確認いただけたらと思います。

○神谷委員長 ありがとうございます。今、事務局から説明がございましたように、どこの委員会にも属さないような案件といったものをとりあえず議運のほうに諮りますということでしたので。そういう解釈でいいですよ。

今の楠委員の意見に対しまして、また楠委員の意見でなくてもいいんですけど、こう思うよということがありましたらお願いします。吉田委員。

○吉田委員 この案というか、示されてるわけですけど、これはどこかこういうような先進市の事例とか何かあったんですか。

○神谷委員長 事務局。

○事務局 これ現在、事実上今市民の皆様から例えば投書があった場合については、議長宛てに来ておりますので、まず議長に見ていただいて、前回、楠委員からもありましたように、素早い対応ということのものを最終的

にこの系統で落としたときに、実際、案として落とさせていただいたものです。ですので、通常来た場合に、議長、正副議長あったときに、常任委員会等にあれば回答を依頼します。議長のほうで多少の回答ができるものについてはちょっと事務局との協議の中で、回答できるものは即回答できるような体制なんですけど、常任委員会に一応見ておいてもらったほうがいいというものについては、それぞれ各常任委員会に流して、依頼して、それを正副議長とで回答するという流れが、こういう系統、決められたものはないんですが、それを今回こういった形でつくり上げたといったものです。

そんな中で、そういったものを今回つくったということで、他市についてはちょっとまだ確認はしてないんですけど、現状のものをまず、湖西市としての素早い対応を念頭に置いた系統となっております。以上です。

○**神谷委員長** 吉田委員、いかがでしょうか。

○**吉田委員** 湖西市はこういう形でやったらどうだという提案ということですね、事務局のほうからね。

私、ほかの市でこういうような意見とか投書があった場合には、こんな流れでやってるよというような、そんな先進事例が幾つかあって、その中でぐあいよく行ってるようなあれだというようなことでの一つの提示かなと思ったんですけども、はい、わかりました。やってみて、それでもしふぐあいがあれば、そのときまた改善していてもいいし、まず一番最初、文書は正副議長が振り分けるということで行きましょうということであれば、特に私は問題ないと思います。

○**神谷委員長** ありがとうございます。インターネット等々で見ましても、声とか投書に対して、どういう対処方法とってるというのはなかなか見つけづらくて、陳情とか要望書に関しては載ってるんですけども、それ以外の声とか投書に対しての取り扱いというのは、なかなか参考事例が見つからないのが正直なところでございます。皆さん方の意見を反映して、こういうフローにしてみてもどうかということでも事務局でつくってくださいました。

ほかにいかがでしょうか。もう一点、どうぞ。では議会運営委員会のところはよろしいですか、まずは。意見が出ませんので。はい、どうぞ。

○**楠委員** 2点目です。なぜそういうふうなことを言ったかというのが、実は、いつまでにとというのがないんですね、ここに。フローの中に。いつまでにとというのがあって、そのタイトな間で毎回のようには議会運営委員会を開くのはしんどいかなというのは正直思ったところなんです。わざと入れかえて聞いてみたんですけども。いつまでにとというのは必要ないですかね。

○**神谷委員長** 馬場委員、どうぞ。

○**馬場副委員長** やはり内容によるんだよね。これはやはり即動くものについては早急に答え出す。ちょっと時間かかるものって、その辺のところを明記するというのはなかなか難しいところあるんじゃないかなと思うんですけどね。以上です。

○**神谷委員長** 楠委員。

○**楠委員** 議論をしなくてはいかんとかなというふうにするんです。結論を、結果として回答を出すのはやはりケース・バイ・ケースでいろいろ手間がかかったりするとは思いますが、意見をいただいた方に対して承りましたというレスはすぐに必要かなというふうにするんですけど、どうでしょう。

○**神谷委員長** どうでしょう。大分市議会のを見ていただきますと、真ん中辺に、お寄せいただいた議会への意見・質問の内容によっては回答日数が、こういうものも含めて出しておけばいいのかなという気もしないでもないんですけども。馬場委員。

○**馬場副委員長** 今、楠委員言われたのは、出した人に対して、取り扱い。

○**神谷委員長** 承りましたよという。

○**馬場副委員長** 前回あった前田さんの関係のところも、やはりこうやってやっていますよという回答するだけで物すごい親切だと思えます。ただ、正式な回答というのは時間もかかるし、その辺のところについてはこう

いった形の中で明記すべきなのかというのはちょっと僕も定かではないです、はっきり言って。難しいかなと思います。

○神谷委員長 声とか投書が届きました。それをまずは受け取りましたよという返事を相手方に返すという、返したらどうかということを楠委員はおっしゃってるわけで。

○楠委員 あくまでもこれ内規だと思うんですけども、内規の中でしっかりと市民から声が届いたら、誰がまずその方に返すかというところをまず明確にして、1週間なら1週間以内に正副議長は各常任委員会に振り分ける。ここまでの手番はある程度ルール化をしておいたほうがいいのかなというような提案です。

○神谷委員長 暫時休憩とします。

午後1時23分 休憩

午後1時30分 再開

○神谷委員長 休憩を解いて会議を再開いたします。

本日の委員会においては、まずこの市民からの声等取り扱いについては、このフローで、まずは流れだけをつくって、これを議長のほうにお返ししたいと思います。また、今後の特別委員会において、要綱に匹敵する文言等をまた決めていく、上げていくという形で進めさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 では、まずきょうの会議でこういったルールにのっとってやってはどうかということで、議長のほうにお渡ししたいと思いますので御了承ください。

右下に回答方法で、所管委員会で文書作成、議長名で回答するよ、議会だよりに掲載とホームページ掲載というところがクエスションになっていますけども、議会だより掲載は前回も市民の声をお寄せくださいというのが議会だよりも載っているということもありまして、各常任委員会等も年度末、3月の議会だよりでしたか、1年の活動報告を掲載するような形があったかと思うんですけども、3月の議会だよりでしたかね、常任委員会等の1年間の活動、中間報告みたいな形、ありましたね。もし市民から意見があれば、1年なら1年分まとめて議会だよりに載せる、またはホームページに掲載していくということで、それを取り扱うのも承ただけのものまで載せるのか、明らかに回答をしたものを載せるのかはまた今後御検討いただければと思いますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 また案を練っておいてください。よろしく申し上げます。はい、どうぞ。

○吉田委員 今これ見てて、ぱっと今思ったんですけども、正副議長が振り分けるのは、各常任委員会に振り分けるというのが原則ということですね、これの図面から行くと。そしてその中でこれは各常任委員会じゃなくして議会全体にかかることだねと戻ってきたやつが、その議会運営委員会のほうに改めて行くという、そういう矢印のようにこれ思うんですけども。最初のときは総務・福祉・建設の各常任委員会と議会に關係するものは議運のほうにという、いわば4つの行き先があったけどもというように私理解しておったんですけども、このフローシートから行くと、常任委員会に先やって、それでそこから今度は全体に關係するんじゃないのということで戻されたのを正副議長が今度改めて議運に持ってくと、こういうぐあいになるんですけど、そのところちょっと確認させてください。そうでないと下のほうがつながってこない、今度。報告が。議会の運営委員長はどこへ報告するかって、正副議長にそのまま報告とっちゃうのか、あるいは常任委員会へ戻すのか、そこら辺のあれも、これちょっと不明確。

○事務局 事務局です。こちらで案として正副委員長と話ししてつくったものでこの矢印は、各委員会に行く矢印も議会運営委員会に行く矢印も、並列のつもりで、直接正副議長から各委員会に諮らずに議会運営委員会にそ

のまま行くものもあれば、各委員会に投げて、その委員会の中でこれは全体だよということで返されてきて、もう一回戻って議運にというパターンもあるかとは思いますが、イメージ的には並列のつもりでつくらせていただきました。以上です。

○吉田委員 そうすると、議会運営委員会へ行くのは実線ですよ、破線でなくて。そういうことですね。わかりました。そうすると、議運の委員長から正副議長のほうに報告というその線もあるということですね。わかりました。了解します。

○神谷委員長 申しわけありません。今説明がありましたように、議運、3常任委員会並列ということで考えていただきまして、ここちょっと実線を入れなくてはいけないと今、はい、わかりました。

議運でまとめた文章も正副議長のほうへ戻していただいて、市民にお答えを返すという、そういう流れになりますので、申しわけません、議長のほうに渡すときにはそういったちょっと手直しをさせていただきますので、よろしく願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。では、そこを修正しまして、また改めて皆さんにお配りもさせていただきます。

では、3番目の議事に移らせていただきます。

3番目は8月7日、田原市議会へ視察に行きます。そのときに田原市議会さんにお伺いしたい点等をまた質問内容ですね、資料が入ってましたか。もし手書きで書いていただければ、この用紙に書いていただいたり、またメールで送っていただいても構わないと思いますけども、7月13日、高校生との意見交換会のときまでに事務局のほうへ提出をしていただきたいと思います。

この件につきまして、何かございますか。分厚い資料を田原さんのほうからいただいておりますが、これが8月7日、出かけるときにこの資料を持って来ていただきたいということですので、よろしく願いしたいと思います。

この件につきまして、とりあえず詳細。ではちょっと視察に行くときの説明を事務局のほうでお願いいたします。

○事務局 事務局です。田原市議会への視察について、まず質問事項等についてですけれども、そちらに記載のあります7月13日木曜日までに別紙の質問票に手書きで書いていただいて出していただく、もしくはメールでベタ打ちで構いませんので、この様式使わずにベタ打ちで構いませんので出していただくという形でお願いできればと思います。

実際に8月7日の日程になるんですけども、田原市議会さんのほう13時から15時まで意見交換会、視察という形で予定とらせていただいてまして、出発のほうは10時30分に市役所の守衛室の前のところ集まっていたら、マイクロバスで出ていくと。途中で田原市内で昼食をとって、もし時間があれば市内の施設等を視察させていただきますので、1時から田原市議会の方々と意見交換会をと考えております。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。このとき昼食代は、済みません、事務局、ちょっとその辺お願いします。

○事務局 昼食代、あと向こうへのちょっとした手土産といたしますか、そういったものありますので、そういったものでお金をまた、額のほうはまた皆さんにお知らせさせていただきますけど、金額を決めて集めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

○神谷委員長 ありがとうございます。

この件につきまして、御質問ございますか。御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

○吉田委員 夜はないですか。夜の予定は。

○神谷委員長 田原市議会さんということですか。夜。はい、お願いします。

○事務局 済みません。議会運営委員会のときは夜の懇親会もございましたが、今回については夜のほうまでもお話のほうはしてございません。ただ今後、田原市、豊橋さんとかいろいろそういった関係もございますので、その辺のまた交流というのは今後出てくるかと思えますけど、この研修につきまして、まずICT化の関係の意見交換会をさせていただきたいということで申し出たものですから、今回については、夜のほうは済みません、予定のほうはできませんでしたのでよろしく願いいたします。

○神谷委員長 吉田委員。

○吉田委員 わかりました。

○神谷委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

ちょっと一点、確認したいんですが、資料にあったかと思うんですけども、田原さんのほうは何人の議員が対応して下さるんですかね。

○事務局 田原市さんのほうですね、議運の関係でこういったのを進められたということで、議運の恐らく、ちょっと議長さんも来られるか、ちょっとその辺は確認とれてないんですけど、議運の委員の方が中心にやっていたかというふうになっております。以上です。

○神谷委員長 ありがとうございます。

ではまた、結構しっかりした資料をいただきましたので、皆さん、帰って目を通していただいて、こんなことをお聞きしたいということがございましたら、事務局のほうへ13日までにお寄せいただければと思います。よろしくをお願いします。

この件はよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。

では、(4)その他ということですか。

その他、まず先ほども出ましたけど、まず今後の日程を少し、もう一度お願いできますか。再確認してください。

○事務局 それでは今後の日程を再確認させていただきます。まず、7月13日木曜日、これが新居高校生との意見交換会がございます。

○神谷委員長 13日当日、会場の準備というのは、ないですね。そんなないですね。ただ、12時40分。いいですか。バスが迎えに出る時間帯に集合ということで。では当日は12時40分集合でお願いいたします。

○事務局 では当日13日木曜日は12時40分集合ということでよろしく願いいたします。そしてあと24日月曜日、これは記録係の方はデータを事務局へ送っていただくということになります。そして25日にこの会場で先ほど申し上げましたように外部講師を呼んでの議員研修会がここがございますので、その終了後に広報広聴特別委員会を開催させていただくという予定になります。恐らく16時ごろになろうかと思えますけど、そんな予定となります。そして8月7日月曜日が田原市議会への視察ということで、10時30分出発となりますので、守衛室前へ集合をお願いいたします。そして28日の全協で高校生との意見交換会の報告、また田原市議会の視察報告ができればここで報告をさせていただくという内容となっております。以上が現在の予定となりますのでよろしく願いいたします。

○神谷委員長 ありがとうございます。現時点、決まっております日程がただいま報告のあったような日程となっております。

その点につきましてはよろしいでしょうか。荻野委員。

○荻野委員 この田原市の視察というのは、報告は、するだら。

○神谷委員長 事務局。

○事務局 済みません、田原市のほうへは委員長が、全協で報告しますので、皆様から一応意見を取りまとめていただいて、委員長報告をお願いしたいと思います。

○神谷委員長 そうしますと、8月7日に行ってきた、8月28日の全協である程度報告ができればということですので、また次の委員会のときまでに、いつまでに視察に行った感想をお願いしますということを報告させていただきます。よろしいでしょうか。これも箇条書きでいいと思いますんで。

〔「全協に間に合う」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 間に合うようにです。ちょっと苦しいですがね。わかんない。意見交換会のはね、ですが、これは確実に。そこはまた次で。とりあえず行ってきた報告書はお出しいただくということで御承知おきください。まず現時点決まってるところがそういう状況です。

先日、湖西高校さんへも事務局並びに副委員長と挨拶に行つてまいりまして、湖西高校さんのほうも今回40人の生徒さんがいるそうで、1回ではこちらが対応し切れません。そうしますと湖西高校さんのほうも2回やらないという状況になっております、現時点。まずそれを一点報告させていただきます。

それとあとは、泊を伴う研修ですね。それ、議会報告会が10月の最後の週、10月23の週でおおむね決まっていきたいと思います。そういった中で泊を伴う視察研修をどういった目的でどこに行くかということをもた皆さん、いろいろ御意見をいただきたいと思っておりますので。ではまたいろいろ皆さんいろいろ調べたりいろいろしていただいて、またいつまでにお寄せくださいというのは連絡させていただきます。視察ですね。

ほかに何かございますか。本当に高校生との意見交換会を4回、今年度開く形で、ちょっとばたばたするかなと思っております。まずは田原さんへICTの関係で調査・研究に行きます。

吉田委員。

○吉田委員 40名が参加予定だということで、人数が多いから2回に分けて開催を計画していきたいということですけど、学校のほうは40名というのは1クラスですか、それとも2クラスとかそういう出てきて40名ですか。その点どうですか。

○神谷委員長 馬場委員。

○馬場副委員長 1クラスで40名という。

○吉田委員 その場合に、クラス半分だけあれしてって、そいつは学校のほうの対応はいいですかね。そこら辺はちょっと。

○馬場副委員長 学校のほうの回答ということで、できれば全員に参加させてあげたいということで、だから1回に我々のやり方だとちょっと40名の対応というのはきついもんですから、2回に分けてですねというふうな話はさせていただいたんですけど。それは授業の中では対応していただけるということです。

○吉田委員 わかりました。

○神谷委員長 よろしいですか。新居高校さんのほうもそうですね。まずは半分の方が見えて、あとまたという状況になってます。これはあくまでも学校側のほうからそういった意見を頂戴しております。

○馬場副委員長 今の新居高の補足で。クラスやはり40名ぐらいいて、その中の今回政治経済を専攻してる。あとの文系の関係。その人たちにもやりたいという学校側の意向が。経験をさせたいということで。だから2回できればということで、いうふうなお話が。それはまだ具体的ではないですけど、この間のお話の中ではそういった学校側の意見が出されました。回答についてはまだ出してありませんが。

○神谷委員長 吉田委員。

○吉田委員 例えば、我々受けるほうが9名の議員が受けるわけだけでも、今、3人ずつで3つのグループで意見交換会やってる。これを例えば2人ずつにして、それで4つのグループに分けて、1グループ10人なんだけど

も、できるだけ人数少ないほうが意見はたくさん聞けるんだけど、そのとこで一遍にやっちゃったほうが、学校のほうもあれだし、我々もどうかかと、こう思って、そこら辺の検討はできなかったのかなというか、どうか。学校のほうからどうしても2つに分けたほうが学校でやりやすいというか、そういうことでの希望があって分けるというならあれだけど、我々の受けるほうの都合で2つに分けたいというふうなら、我々のほうでちょっとそこら辺は、4つのグループぐらいでやるということは、ちょっと無理でしょうかね。

○神谷委員長 どうぞ。

○馬場副委員長 今回の件については、たまたま湖西高校さんのところへ挨拶に行ったときに、19日は決まってますけど、今回40人がそんな感じで出席したいという意見が出たもので、その内容については、そうすると今までの考えでいくと2日かかるかねというお話だったんですけど、いや、我々の今のこの特別委員会の中で1日でやっ飛ばすといえ、それは話ができることだと思います。新居高校さんについても、せっかくこうやってやっていただけるなら、ほかの残った生徒にもぜひやらせたいということがあって、その日程については必ずやるという話でないもんですから、向こうの学校側の意向として、やらせてあげたいという、体験させたいというのが意見だということで伺ってきましたので。それを今皆さんにこういう意見がありますということで提示させていただいたということですので。いいですね、委員長、これで。

○神谷委員長 そうです。学校側からこの日とこの日が都合いいですよというのが1月19日ともう一週遅い日であって、向こうが40人ということで、だったら、ちょうどその日も都合がいいのでというような流れで、正式な決定では決してありません。まずは目の前の7月13日の新居高さんとの意見交換会をいかにスムーズに進めるかということだと思います。

○吉田委員 新居高校のように、最初19人にやったけども、ほかにそれでいいからぜひ次の残りのメンバーもやりたいよということならあれですけども、今度湖西高校のほうは、湖西高校も今度やりましょうという計画なもので、できれば一遍にやるようなことでやったほうがお互いにいいじゃないかなというような感じがしたもんですからね。特にうちのほうの都合で2回に分けるということであれば、みんなにちょっとそこら辺も意見を聞いていただきたいなど。

○神谷委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 さらに余分な話になっちゃって申しわけないですけども。やはり学校もいろんな事情があると思うもんで、だんだんそういう事情というか都合を、正面な出てくると思うもんで、1クラス云々はやはりやりたいなというのは、気持ちはわからんでもないと思うんですね。そういう点では40人は人数ちょっと多いかもしれんけども、そういうクラス編成ならそれに対応して。この特別委員会もずっと続ける委員会じゃないと思うもんで、将来どうなるかわからんという点があるもんで、新居高はもうこういうふうに決まっちゃったもんで、もう2回やらなしようがないなと思います。今吉田委員がおっしゃったように、学校の授業も一遍にやれば助かると思うんですね、向こうも。そういう点では受け入れが何とかできないかな。そのためには、主体はこっちになりますけども、あと残りの9人にも協力してちょうだいよと、面倒くさいことはこのメンバーやりますから、意見交換会、手伝ってくれんかねというような話で、問題は部屋の問題があるかなと。それがちょっといいアイデアないな。早くに言って、あっちの会場を確保するとか、そういう手だてはないことはないと思いますけども、一応そんなことも、まだ時間があると思いますので、ちょっとみんなでいろんなアイデアを出しあったらどうかと、そんなふうに思います。

○神谷委員長 ありがとうございます。済みません、個人的な意見を言うてはいけないと思うんですけども、いざ私は高校生議会、本会議場でやる、今その下準備、下準備という変な言い方ですけども、まずはその取っかかりとして今の意見交換会をやっている。方々のところを見ますと、市内に幾つかのそういう高校があれば、そこから代表が出てきて、代表質問をやって、本会議場で、ということ。そして政策的に反映できるものは政策

に反映していくというような形をやっているところが結構ありますよね。いつまでもこういった意見交換会という形ではなくて、さらに進めていけたらいいなとは思っていますね。

そういったことも含めまして、今後、今渡辺委員のほうから提案いただきましたように、どういった形で今後こういった高校生との意見交換会、将来的には高校生議会にしたいなと私は思っているんですけども、その辺もどういった段取りをとっていけば開けていけるのか。土曜日に開いているところも結構あったりします。そうすると県教委等にも話をしたりしてやってかないといけないのかなと思います。そういったことも含めて、また調査をしながら高校生との意見交換会をステップアップさせていきたいと思っておりますので、皆さんいろんな情報をつかんでおいていただいて、また御意見をいただければと思います。

きょうこれでちょうど14時5分前になりますので、きょうの委員会はこれで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○神谷委員長 ありがとうございます。

では副委員長、お願いします。

○馬場副委員長 どうも御議論いただきましてありがとうございます。13日に向けて、皆さん方、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

以上で特別委員会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

〔午後1時56分 閉会〕

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 神谷里枝